

月刊 新翔タイムズ

第39号
新翔タイムズ
編集室
発行・熊野新聞社

安否確認に全力、無事を確認

台風12号被害で4日間臨時休校に

台風12号による大雨が、大きな被害を被った。紀伊半島南部に甚大な被害をもたらした。本校も7日(水)まで連続4日間の臨時休校を余儀なくされた。9月8日(木)に再開となり、登校後直ちに全員の安全を確認された。

その後各教室に戻り、被災状況調査を行い人的・物的被害状況把握を行った。全員が登校できる状況にはなく、電話回線が繋がらない地域もあり、安否確認に困難を極めたが、正副担任が家庭訪問を行い生徒・保護者全員の安全を確認できた。

積極的にボランティアへ

台風12号被災地へ、各クラブの参加報告

【ソフトテニス部】ソフトテニス部は9月19日(月)に男子9名、女子4名が新宮市内へボランティアを行いました。3つのグループに分かれてボランティアの要請が来ているお宅を訪問し、室内の清掃や倉庫の泥かきなど5時間程度行いました。生徒は、地域のために自分が役に立っているという満足感を得ることができた様子で、積極的に作業を行っていました。また、ボランティアをすることで地域の方との繋がりも深まり、充実した一日になりました。

【ラグビー部】9月18日(日)に予定していた勝浦ボランティアが大雨警報のため9月23日(金)に変更となり生徒22名・ラグビーの保護者数名が2班に分かれ2世帯の床下の泥かき、荷物の運搬、溝の清掃等一日素晴らしい汗を全員でかき、貴重な体験ができたことに感謝しています。また、部員のひたむきさ、一生懸命さに感動しました。

【主将・東幸之輔君の感想】部員全員、顧問、保護者が一体となって経験できたことが今のチームの団結力となっています。経験できたことを感謝します。



【家庭科クラブ】手作りクッキーを差し入れ。9月28日(水)家庭科クラブ有志による手作りのクッキーと銀魂イラストを新宮災害ボランティアセンターと那智勝浦災害ボランティアセンターに差し入れをしました。

自宅が床上浸水した生徒から、「片づけをしていて休憩のときお菓子を食べて疲れがとれた」と聞き、部長が家庭科部員たちに声をかけ実現しました。ボランティアセンター長に「こうした縁の下の力に私たちは支えられているのです」と握手され、生徒たちは一日も早い復興を祈っています、と伝えました。

【部長・上仲真子さんの感想】何か私たちが役に立つことをしたいと思っていたので、受け取っていただけてとてもうれしかったです。

盛況、校内全体が一つに

平成23年度(第5回)新翔体育祭



平成23年度、新翔高校として第5回の体育祭を10月7日に開催した。一時は中止も考えたが、いろいろ考えた結果、従来通りにはいかないが、実施することになった。これまでとは違い、学年縦割りのブロック制ではなく、クラス対抗にした点。このため、ブロック対抗リレーや応援合



戦のない体育祭に。そのかわり、各学年で行う種目をそれぞれ1種目増やした。1年生は、デカパン競争。2人1組でデカパンを運び、走って次の組にリレーする競技で、アンカーには担任・副担任が入ったチームもあった。2年生は、棒リレー。4人1組で長い棒を持って走り、リレーでつないだ。棒に振り回されないよう4人で協力して走っていた。3年生は、借り物競争。

3年生自身から要望があった。1年生は、デカパン競争。2人1組でデカパンを運び、走って次の組にリレーする競技で、アンカーには担任・副担任が入ったチームもあった。2年生は、棒リレー。4人1組で長い棒を持って走り、リレーでつないだ。棒に振り回されないよう4人で協力して走っていた。3年生は、借り物競争。

後期生徒会の役員選挙

10月12日の4時間目、本校体育館で平成23年度後期生徒会役員立候補者へ応援の立会演説会と選挙が行われた。立候補した3人全員が信任された。



今回は、定数1名の会長に1名、定数2名の副会長に2名が立候補。いづれも2年生で、まず、会長候補の前田建人君が「勉強やクラブ活動など何事にも積極的に取り組む学校にしたい。文化祭でみんなが積極的に参加できる生徒会企画を考え

たい。副会長候補の東雄宏君が「誰もが明るく、あいさつをかけ合おうことが出来る学校を目指したい。そのために学校や周辺の清掃活動を行い、きれいな学校を目指すとともに、朝の声かけ

たり、クリーン作戦で、学校をはじめ、地域の清掃をしていきたい」と抱負を述べた。

続いて副会長候補の東雄宏君が「誰もが明るく、あいさつをかけ合おうことが出来る学校を目指したい。そのために学校や周辺の清掃活動を行い、きれいな学校を目指すとともに、朝の声かけ

先生の紹介
◆南方邦宏先生



はじめまして、今年の4月から新翔高校に勤務させていただいています。南方邦宏(みなみ くにひろ)です。教科は商業科で、クラブは男子バスケットボール部の顧問をしています。出身は、和歌山県紀の川市という桃

や柿、みかんといったフルーツがたくさん収穫されるところです。その中でも、私は旧粉河町に住んでいて高校生の時には、毎年夏に行われる歴史ある「粉河祭り」に参加し、山車(だんじり)を朝から夜中まで押していました。自然豊かな地域で育ったので、新宮地域は懐かしさを感じています。私は社会人一年目で

校では何もかも初めてで、毎日新しい発見や刺激があります。授業やクラブ活動、登校指導の中で、生徒のみなさんから元気を頂いています。みなさんの元気に負けないように「若さ」を武器に、みなさんの学校生活をサポートできればと考えています。

私は、学生時代「陸上競技」をしていました。スポーツの原点である「走る・跳ぶ・投げる」といった単純なことこそを極限まで追いつめて、追い求める、とても奥深い競技です。

先日の世界陸上テグ大会では、室伏広治選手がハンマー投げで金メダルを獲得し、日本に感動を与えてくれました。一つのことを長い間やり続ける、ということも大好きです。休日には新宮、那智勝浦方面に行くと多々あります。一緒に体を動かしてみたいという人は気軽に声をかけてください。また、どこかで見たかたは、是非声をかけてください。一緒に新宮の風を全身に浴び、地域の良さをさらに実感しましょう。

10月 登下校指導

今年度5回目の「10月登下校指導」を11日(火)から14日(金)までの4日間、全職員協力のもと実施した。今回は9月の台風12号の影響で、新宮・紀伊勝浦間のJR列車が復旧しておらず、紀伊佐野駅での指導を代行パスのバス停である、オーバックス前に変更して、登校時と下校時(4つの時間帯に分けて)に立った。

10月から夏衣・冬衣両用期間となり、ブレザー着用時のノーネクタイ・ノーリボンの注意、女子の短いスカートの注意、あいさつ運動。また、JR列車不通の影響で通学路の歩く距離が長くなり、登下校時のルール、マナーの向上、さらに、交通安全を目的に挙げ、朝早くから夕方遅くまで熱心に指導にあたってもらう。

期間中の13日(木)には全校一斉服装・頭髪点検を行い、18日(火)からは2学期中間テストが始まることから、1時間学習に集中すること、そのためには日常生活での服装頭髪を整え気持ちを引き締めて中間考査に臨むことを注意した。

「国体カヌー競技 監督報告」 阪口博紀

10月6日(木)〜9日(日)に山口県萩市で行われた、第66回山口国体のカヌー競技、日本に感動を与えてくれました。一つのことを長い間やり続ける、ということも大好きです。休日には新宮、那智勝浦方面に行くと多々あります。一緒に体を動かしてみたいという人は気軽に声をかけてください。また、どこかで見たかたは、是非声をかけてください。一緒に新宮の風を全身に浴び、地域の良さをさらに実感しましょう。

この2人は長い間、和歌山県のカヌー界を牽引してきた選手たちですが、この記事を書くためではなく他の取材で2人

運動に積極的に参加したい」と話し、その後、同じく副会長候補の荒尾直輝君が「みんなの声を生徒会の運営に反映できるように意見箱を設置したい。校内のみのポイント捨てをなくしたい」と演説。その後、信任投票が実施され、三人とも信任された。

新生徒会長の前田建人君は「元気いっぱいがんばります」、「東雄宏君は「あいさつと笑顔をモットーに頑張っていきたいと思います」、荒尾直輝君は「生徒会副会長という自覚をもち、一生懸命がんばります」と抱負を述べた。

空手部



空手道は何よりも「礼節」を重んじる武道です。新翔高校で空手道の活動をはじめ、早くも10年が経ちました。近畿大会出場(3回)・国民体育大会出場(1回)などの成績をおさめています。現在は、3年生が引退し、2名(男子1、女子1)で活動しています。11月12日に地元那智勝浦町で行われる新人大会では良い結果を残すよう、練習に励んでいます。

「継続は力なり」という言葉があるように、勉強でもクラブ活動でも一生懸命取り組んでください。また、どこかで見たかたは、是非声をかけてください。一緒に新宮の風を全身に浴び、地域の良さをさらに実感しましょう。

に長く第一線で続けられる秘訣を聞いてきましたので何かの参考にしてください。大平幸子選手「環境とやる気があれば存続できる。県に貢献したい、カヌー競技を広めたい」と思っています。大平幸子選手「環境とやる気があれば存続できる。県に貢献したい、カヌー競技を広めたい」と思っています。